

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 707

1部60円

友の会会員は会費に含まれています

発行 東京勤労者医療会代々木病院

院長 河邊 博正

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

2026年
9月号

3者共闘主催で憲法学習会を開催

代々木病院
代々木健康友の会
労働組合



「憲法を学び生かし守り抜く」をテーマにご講演

「憲法の理想を現実に近づけよう」伊藤真弁護士から憲法学ぶ

7月29日、代々木病院、代々木健康友の会、労働組合の三者共闘主催で、憲法学習会を多目的ルームで開催し、76名が参加しました。講師は伊藤真弁護士の伊藤真弁護士で、「憲法を学び生かし守り抜く」をテーマに、国民の憲法意識、憲法の意義と日本国憲法の価値、改憲のねらいと内容、安保法制以後の軍事国家化、我われが今なすべきことについて学びました。一部を「紹介」します。

（文責・編集部）

日本をどういう国にした
いかの設計図

戦争しないための「戦争
準備」で良いのか

初めに、日本国憲法で一番大切なものとして「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」があげられ「国は永遠に変わらないものとして存在しているものではない。自分たちの意思で創り上げるもの、日本をどういう国にしたいのか、そのための設計図が憲法を進めることで、本

いいのだろうか？と問題
提起されました。

日本国憲法制定の目的

日本国憲法制定の目的として、「日本中に自由と人権をもたらすため」「政府に二度と戦争をさせないため」の二つの目的を実現するための手段として、私たちが主体的に行動して実現すること、そのために選挙があると語られました。

また憲法は何のためにあるのか？過去の苦い教訓として、「国民の多数が支持して、選挙で勝って政治を行ったけれど、間違っていた例」として、ナチスのヒトラーやヨーゼフ・ゲッペルス宣伝大臣の言葉「嘘も100回言えば真実になる」が紹介され、「多数意見が常に正しいわけではないこと、多数意見にも歯止めが必要なこと、多数意見でも奪えない価値があること（特に少数者の人権、平和など）」、これをあらかじめ決めておくのが憲法と語られました。

日本の立憲主義の特徴

この政治権力を憲法で縛るという考え方が立憲主義で、もともと国王の横暴に歯止めをかけるために生まれました（英



熱心に聞き入る参加者

国・マグナカルタ・1215年）。民主主義社会においては多数派による民意を反映した政治権力にも歯止めをかけるという意味を持ちます。憲法は国をしばるもので、法律は国民をしばるもので、どんなにすぐれた政策もすべて憲法の枠内で実現しなければなりません。憲法とは、国家権力を制限して国民の権利・自由を守る法で、あくまでも近代国家の憲法は人権保障が目的です。さらに戦争させないことも目的とした点に日本の立憲主義の特長があります。憲法99条の「憲法尊重擁護の義務」にあるように、「本来、国民には憲法を守る義務はなく、政治家などに守らせる責任があるだけ」です。

最後は市民の力、主権者主義

憲法12条では、「この

憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」とし、国会議員、官僚、裁判官など公務員に憲法を守らせるために主体的に行動することを国民に求め、最後は市民の力、主権者意識、憲法意識の重要性が話されました。生活にとつての憲法の意味

また私たちの生活にとつての憲法はどんな意味があるのでしょうか？私たちの生活の中でも強い者と弱い者がいるときに、強い者から弱い者を守るために憲法が重要な役割を果たします。権力、暴力、財力、会社、社会的地位、専門知識などの強い力から弱い者を守るための道具となります。どんな社会にも弱い立場、少数派が存在します。

憲法理解の上で大切な想像力

憲法を理解する上で重要なことは想像力（イマジネーション）で、多数派（強者）から少数派（弱者）への想像力、多数派と少数派は入れ替わる可能性のあることへの想像力、人間には強いところも弱いところもあるとい

千駄の萱

7月号に希望を込めて「イラン戦争の出口が見えた」と書いた。しかし、その後の混とんが再び出口を閉ざした。トランプの定見のなさ、イラン内部の主導権争い、イスラエルの暴走。犠牲になるのは力なき市井の人々であるが、この戦争においては世界経済という巨大なシステムを通じて、直接関係がない国々の広い範囲へ影響が及んでいる。エネルギーを始めとする様々な物価高騰で直撃を受けるのは最も経済的に苦しい層だ。経済大国日本とて光熱費や燃料代高騰で圧迫されている人々がいる。追い詰められる中小企業も少なくない。アメリカにおいてもガソリン代高騰がトランプの支持率を過去最低に押し下げるといわれている。状況は悪化している。ただ、アメリカ人にとつてはその程度のこと。対岸の火事ですらない。ガザやイランの市民とは違う世界。無論我われも。戦後81年、日本は一度も戦争をしなかった。銃火によって1人も殺していない。これは平和憲法の下、誇るべきことであり、大戦の悲惨さを知る日本人だからこそ、途切れることなく続けていかなければならない。

(ひ)